

策定後の推進体制、進行管理体制について

地域福祉リーディングプラン（第4期平塚市地域福祉計画、第3期平塚市地域福祉活動計画、第1期平塚市自殺対策計画、第1期平塚市成年後見制度利用促進計画、第1期平塚市生活困窮者自立支援計画を一体策定する計画冊子全体の総称、以下「リーディングプラン」という。）につきましては、策定委員の皆さまから多大な協力をいただき、完成に向けて最終段階に入っております。

リーディングプラン策定後については、いわゆる計画の「作りっぱなし」を避ける観点からも、第9章（175ページ以降）でお示ししているような計画の推進体制、進行管理体制を敷くこととしています。ここでは、年度ごとの進行管理について、具体的な進め方をお示しいたします。

（基本的な考え方）

進行管理の基本的な流れは、177ページで示したとおり、各計画とも庁内会議体において前年度の事業実績・取組実績を取りまとめて庁内での評価（一次評価）を行った後、外部委員が参画する「懇話会」へ報告して評価（二次評価）を受ける流れとなります。

なお、リーディングプラン全体の進行管理を担う会議体は、庁内に関しては「地域福祉庁内連絡会」、外部委員が参画する懇話会に関しては「平塚市地域福祉推進懇話会」となります。（地域福祉計画、地域福祉活動計画の進行管理も行います）そのため、自殺対策計画、成年後見制度利用促進計画、生活困窮者自立支援計画の進行管理を担う各懇話会からは、代表者1名が地域福祉推進懇話会へご参加いただくことを想定しています。

（具体的な進め方）

以上の流れを踏まえた毎年度の進行管理にかかる具体的な進め方は、次ページのとおりで。

時 期	会議体等	取組概要	備 考
6月ころ	事務局対応	前年度実績の庁内照会	5計画を一括して全庁照会
7月中旬		回答内容の取りまとめ、実績一覧作成	計画ごとに一覧を作成
7月下旬から 8月中旬	自殺対策計画、成年後見制度利用促進計画、生活困窮者自立支援計画の庁内会議体開催	各計画の前年度事業実績・取組実績を踏まえた庁内評価（一次評価）	
8月下旬	地域福祉庁内連絡会開催	リーディングプラン全体の前年度事業実績・取組実績を踏まえた庁内評価（一次評価）	地域福祉計画、地域福祉活動計画の一次評価もあわせて実施
8月下旬から 9月中旬	自殺対策計画、成年後見制度利用促進計画、生活困窮者自立支援計画の懇話会開催	各計画の前年度事業実績・取組実績を踏まえた外部評価（二次評価）	
9月下旬	平塚市域福祉推進懇話会開催	リーディングプラン全体の前年度事業実績・取組実績を踏まえた外部評価（二次評価）	地域福祉計画、地域福祉活動計画の二次評価もあわせて実施
10月上旬	事業担当各課対応	懇話会における評価も踏まえた次年度予算の要求等	
下半期		予算議論等も踏まえた事業計画の立案	
<p>中間年度については、通常の進行管理に加えてそれまでの事業実績・取組実績を踏まえた評価を行い、リーディングプランの内容について点検を実施（点検結果によっては、数値等目標の変更なども含めた計画内容の修正）</p>			

以 上